平成30年度の名古屋市博物館

1 階展示室　特別展・企画展

4/28 – 6/10　企画展
博物館イキ！

お鍬祭り再現の様子

博物館行き。一般的には役に立たなくなった物に対する言葉のようです。ですが、実は博物館に来たモノたちは、とてもイキイキとしています。名古屋市博物館は、皆様の協力を得ながら、40年以上かけて膨大なコレクションをつくり上げてきました。これらは、集めるだけでなく、調べ、活かすことで、地域の歴史や文化を伝える大切な源となっています。今回の展覧会では、今注目される22の多様なテーマから、博物館コレクションの魅力に迫ります。

御鍬祭真景図略（部分）

7/14 – 9/17　特別展
海たび

張州府志（部分）

松崎遺跡出土の釣針
東海市郷土資料館蔵

古代氏族「尾張氏」の海民伝承、宮の渡し、祭礼行事にみられる海とのかかわり、現在も盛んな漁業など、尾張・知多地方の歴史文化には古代以来一貫して、海に育まれた地域色があります。本展では考古学と民俗学の両面から、「行ってみたくなる海の歴史散歩」をコンセプトに、尾張・知多の海の歴史文化の特色とルーツにクローズアップします。

礫ヶ浦の鳥居　南知多

10/6 – 12/2　特別展
古代アンデス文明展

縄をかけられたラクダ科動物（リャマ？）が描かれた土製の皿
ナスカ文化　ディダクティコ・アントニーニ博物館

古代アンデス文明は、南アメリカ大陸の太平洋岸南北4,000km、標高差4,500mにわたる広大な空間に、先史時代からインカ帝国滅亡までのおよそ15,000年という時間に盛衰したさまざまな文化全体をさします。この展覧会では、いくつもの文化が連なり、互いに影響を与え合うなかで育まれた神話や儀礼、神殿やピラミッドをつくる優れた技術、多彩な自然環境に適応した生活様式などを、古代アンデス文明を代表する9つの文化から選び抜かれた貴重な資料で紹介します。

12月3日～10日は館内点検のため休館します。

12/15 – 1/27　特別展
画僧月僊（げっせん）

月僊（1741-1809）は、江戸時代の中頃に活躍した浄土宗の画僧です。名古屋に生まれ、幼少にて仏門に入りました。江戸や京都で修行するかたわら絵を学び、ユニークな仙人の絵で人気を博します。伊勢の寂照寺の住職となると、絵を売って寺の再興に努め、貧民救済にも尽力しました。本展では、仙人を描いた人物画を軸に、仏画や山水画、花鳥画もあわせて多様な画業を見ていきます。また仏教者として社会福祉に取り組んだ人となりを紹介します。

月僊　仏涅槃図

2/23 – 4/7　特別展
国芳から芳年へ

武者絵や戯画に新機軸を打ち出し、幕末浮世絵界のさらなる活性化につなげた歌川国芳（うたがわくによし）。国芳の弟子で幕末から明治に和洋を融合した画風で人気となった月岡芳年（つきおかよしとし）。本展では国芳とともに、芳年、芳幾ら国芳の弟子たちにもスポットを当て、幕末から明治にかけて社会情勢が激変するなか、国芳の個性がどのように継承、変化していったのかをたどっていきます。

歌川国芳　相馬の古内裏（部分）
高木繁コレクション

2 階展示室　常設展「尾張の歴史」

■フリールーム　常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

3/28 – 5/20
尾張の幕末維新

幕末の尾張藩を動かしたのは、前藩主徳川慶勝です。また、いわゆる勤王の藩士も活躍しました。彼らの書画や書状などを展示します。

官軍袖印

5/23 – 6/24
秀吉と鷹狩り

武士の嗜みとしてひろく行われていた鷹狩りですが、豊臣秀吉にとっての鷹狩りはどのようなものだったのでしょうか。館蔵資料を中心に紹介します。

木曽産物（部分）

6/27 – 8/26
陸軍名古屋特別大演習

大正2年（1913）、名古屋市街地の周辺で天皇統監のもと行われた一大イベント「陸軍特別大演習」を、当時の市会議員の残した関係資料を中心に紹介します。

東西両軍戦況概要ほか

8/29 – 10/21
伊勢湾台風

昭和34年（1959）9月26日に東海地方を襲った伊勢湾台風。機動隊員が撮影した写真や支援物資の容器など、当館が近年進めている調査・収集活動の成果をご紹介します。

救援物資の入っていたドラム缶

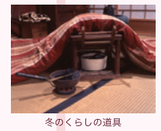
10/24 – 12/2
尾張の円筒埴輪

古墳時代の尾張には、他地域にはない独自の特色をもつ円筒埴輪があります。名古屋市内の出土品を中心にして、円筒埴輪の観察からわかる、尾張ならではの先進的な窯業技術や独特の価値観を紹介します。

一本松古墳（昭和区）の円筒埴輪

12/24 – 3/24
くらしのうつりかわり

洗濯板やあんどん、冷蔵庫など、この100年あまりの間に用いられてきたくらしの道具を紹介します。小学校3年生社会科学習にあわせた展示です。


冬のくらしの道具

■テーマ10 近世尾張の文化　名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品などを、定期的に展示替えしています。

3/28 – 4/22
白隠の書画

臨済宗の僧である白隠慧鶴は禅の教えを説くため、親しみやすい絵や書をしたためました。新収資料を中心に紹介します。

白隠慧鶴　遊唐天神図

4/25 – 6/24
短刀と脇指

武士にかぎらず江戸時代の人々が身につけていた短い刀、短刀・脇指とその外装に見られるおしゃれ心を紹介します。

短刀 銘「村正」

6/27 – 7/22
嵐絞り

伝統的工芸品に指定されている「有松・鳴海絞り」。数々の種類の中から、ダイナミックな技法で繊細な模様を染め出す「嵐絞り」の作品を紹介します。

嵐絞り（部分）

7/25 – 8/26
寛永行幸図屏風

寛永3年（1626）、御水尾天皇が京都の二条城へ行幸したときの記録（絵巻）を貼り込んだ屏風。平成29年度の新収資料です。

寛永行幸図屏風（部分）

8/29 – 9/24
洛中洛外図屏風

豊臣期の伏見城が描かれた八曲一隻の大きな屏風。人物表現が緻密で見応えがある優品です。

洛中洛外図屏風（部分）個人蔵

9/26 – 12/2
宮本陣南部家の書画

宮宿（熱田）にあった二軒の本陣のひとつ、南部家（赤本陣）に伝来した書画などを紹介します。

細川綱利書状 南部等梅宛

12/11 – 1/20
尾張・三河の画僧

画僧とは、絵を描いた僧侶のことを言います。江戸時代、尾張や三河地域で活動した画僧たちの作品を紹介します。

瑞岡珍牛　豊干禅師図

1/23 – 3/24
フィールドガイド　江戸時代の鳥

江戸時代の史料から、当時の鳥の様子を紹介します。史料というフィールドで、鳥たちとの出会いを楽しみましょう。

尾張国産物（部分）

■テーマ16　まつり　山車のからくり人形やまつりの道具などを、定期的に展示替えしています。

3/28 – 4/22
東照宮祭巡行図

東照宮祭は名古屋東照宮の4月17日を中心に行なわれるお祭りで、戦前まで9輌のからくり人形の乗った山車が出ていました。平成29年度新たに寄贈された山車を描いた刷り物から、当時の活気あふれる様子をお楽しみください。

4/25 – 6/24
東区筒井町神皇車のからくり人形

6月最初の週末に開かれる筒井町天王祭の山車・神皇車のからくり人形を紹介します。

神功皇后人形
神皇車保存会蔵

6/27 – 8/26
西枇杷島東六軒町泰亨車の大幕

尾張西枇杷島まつりに曳き出される東六軒町・泰亨車の旧大幕を紹介します。鞍馬山の深山幽谷を近世名古屋の人気絵師・張月樵が手掛けた力作をお楽しみください。

泰亨車大幕（右側面）
西枇杷島東六軒町内会蔵

8/29 – 11/25
南区星崎二丁目の傘鉾と大人形の胴体

南区星崎の祭礼に使用されていた、傘鉾と大人形を紹介します。平成29年度の新収資料です。

星崎二丁目の布袋の胴体

11/28 – 1/20
正月の飾り

名古屋市内で製作されたしめ縄、奥三河で製作された正月飾りなど、愛知県内の正月の飾りを紹介します。また、正月の雑煮を写真パネルや食品サンプルで紹介します。

ヤス（東栄町小林）

1/23 – 3/24
郷土玩具とまつり　岐阜・三重・静岡

祭りにまつわる郷土玩具（祭りにちなんだ縁起物、祭りに登場する山車の模型など）のうち、岐阜・三重・静岡県に関するものを紹介します。

四日市の大入道

イベント・セミナー　※参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要な方は、事前申込みの事業は申込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談下さい。

歴史体験セミナー
②③の応募は、往復はがき（1通2名まで。参加者氏名・年齢・希望日時・住所・電話番号記載）・名古屋市電子申請サービスのいずれかにてご応募下さい。詳しくは、博物館公式サイトをご覧になるか、お問い合わせ下さい。

① **むかしのおもちゃで遊ぼう！**　7/18（水）～9/2（日）　開館日の9:30～16:30　会場：2階ロビー　参加費：無料

② **自分だけのまが玉づくり**　8/25（土）・26（日）　各日2回　(1)10:00～11:30　(2)13:30～15:00
定員各回50人（小学校3年生以下は要保護者同伴）　参加費：1人400円
※要事前申込（申込期間：7/1 ～ 7/19必着）

③ **おいしく作ろう　おこしもん**　2/23（土）　2回　(1)10:00～11:00　(2)11:30～12:30
定員各回60人（小学校3年生以下は要保護者同伴）　参加費：1人400円
※要事前申込（申込期間：1/4 ～ 1/29必着）

各種イベント　当館にて開催する様々なイベント

①フェスタ名市博～春～　4/28（土）・4/29（日・祝）　一部の内容には常設展観覧料が必要です。
名古屋市立大学 博物館サポーター MAROによるワークショップなどのもよおしです。

②はくぶつかんのなつまつり　8/4（土）・8/5（日）　常設展観覧料が必要です。
博物館ボランティアによるワークショップまつりです。

③はくぶつかん古書市　9/8（土）～9/17（月・祝）

④考古学セミナー　11/17（土）・11/18（日）　聴講無料
愛知県埋蔵文化財センターと共催。愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。最新考古学情報を紹介します。

はくぶつかん講座
当館学芸員・調査研究員が講師をつとめる講座です。
10:30開講（10:00開場）。聴講無料。各回、当日先着100名。

第1回　4/21（土）　文人の交流 ―野口道直の還暦祝いを中心に―
第2回　5/3（木・祝）　博物館行きから活きへ
第3回　6/16（土）　秀吉の鷹狩り
第4回　7/7（土）　嵐絞り
第5回　7/28（土）　北斎漫画と永楽屋
第6回　8/18（土）　陸軍名古屋特別大演習
第7回　9/22（土）　伊勢湾台風
第8回　11/24（土）　尾張の円筒埴輪
第9回　12/1（土）　伊勢湾奥部の漁業資料
第10回　1/5（土）　浮世絵の楽しみ

＊画像のうち、特に表記のないものはそれぞれの館の収蔵品です。
＊展覧会名称や会期等の詳細は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。http://www.museum.city.nagoya.jp/

■　利　用　案　内　■

名古屋市博物館

〒467-0806
名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
電話　052-853-2655　ファックス052-853-3636
□開館時間　9時30分～17時（入場は16時30分まで）
□休館日　毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日）、
毎月第4火曜日（祝日を除く）、館内点検休館（12月3日～10日）、
年末年始休館（12月29日～ 1月3日）
□観覧料
●常設展　一般300（250）円、高大生200（150）円、中学生以下無料。
※（ ）内は30名以上の団体料金。市内在住の65歳以上の方100円（要敬老手帳等）
●特別展・企画展　そのつど定めます。

平成30年12月3日～ 12月10日は、館内点検のため、休館します。ご注意下さい。

お出かけは公共交通機関で。

□交通　●地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から南へ徒歩5分
●金山バスターミナルから　市バス　金山14系統（桜山経由）「博物館」下車
□駐車場　70台収容　普通車：1回300円　大型バス：1回1,200円
□最新情報は博物館の公式サイトで　http://www.museum.city.nagoya.jp/

名古屋市蓬左文庫

〒461-0023
名古屋市東区徳川町1001
電話052-935-2173　ファックス052-935-2174
□開館時間　10時～17時（入室は16時30分まで）
□休館日　毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日、
5月1日（火）・8月13日（月）は臨時開館（ただし閲覧室は休室）、
特別整理・年末年始休館（12月17日～1月3日）
□観覧料　一般 1,400円　高大生700円　小中生500円（徳川美術館と共通）
□交通　●名古屋駅、栄より
市バス（基幹バス2号系統）・名鉄バス「徳川園新出来」下車、徒歩3分
●大曽根より　JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分

名古屋市秀吉清正記念館

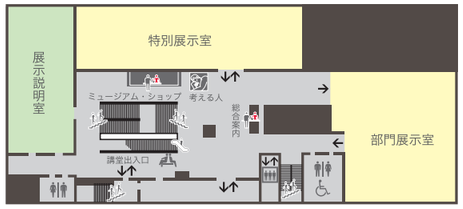
〒453-0053　**開館時間・休館日が変更されました。**
名古屋市中村区中村町字荒ノ木25（中村公園文化プラザ2階）
電話052-411-0035　ファックス052-411-9987
□開館時間　9時30分～17時　□観覧無料
□休館日　毎週月曜日（祝日にあたるときは、その直後の平日）、
毎月第4火曜日（祝日を除く）、館内点検休館（6月30日～ 7月6日）、
年末年始休館（12月29日～ 1月3日）
□交通　●地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分

■　名　古　屋　市　博　物　館　■

名古屋市博物館は1977（昭和52）年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

1階　特別展示室・部門展示室

特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催しています。

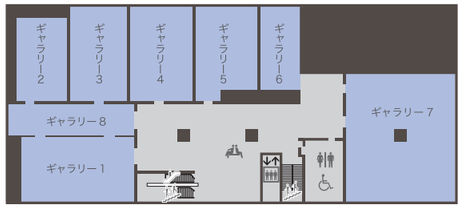


オーギュスト・ロダン作「考える人」
「考える人」の像の前で記念撮影ができます。

ミュージアム・ショップ
オリジナル・グッズ、歴史書などを販売。

3階　ギャラリー

市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。



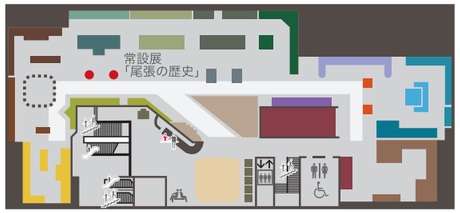
喫茶コーナー　カフェ・サルターレ
コーヒーと軽食をご用意しています。営業時間は10時～16時30分。無料休憩所も併設。博物館の建物を出て左にあります。

■「友の会」会員募集中！■

□入場割引：企画展・常設展は無料。特別展は当日券の半額。
□特典：広報モニター会招待・カフェドリンク割引・館事業情報郵送など。
□年会費：正会員3,000円　家族会員2,000円
□お問い合わせ：名古屋市博物館　友の会事務局まで。

2階　常設展「尾張の歴史」

２階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。



□テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこないます。この他に小規模な企画展示をおこなう「フリールーム」などがあります（裏面参照）。その他のテーマでも随時展示替えをおこなっています。

※ボランティアによる解説をおこなっています。お気軽に声をおかけください。

表紙写真（上から）：「百花文七宝大壺」館蔵／「尾張の魚具と魚介」館蔵／「金合金製の小型人物像（女性）」インカ文化　ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館蔵／「縄をかけられたラクダ科動物（リャマ？）が描かれた土製の皿」ナスカ文化　ディダグティコ・アントニーニ博物館蔵／「蘆葉達磨図」（部分）月僊　館蔵／「東名所隅田川」（部分）月岡芳年　館蔵（尾崎久弥コレクション）
「館蔵」はすべて名古屋市博物館の所蔵をあらわします。

名古屋市蓬左文庫

4/17 → 5/27
春季特別展　明治150年記念
華ひらく皇室文化
―明治宮廷を彩る技と美―
明治維新150年を記念して、明治の皇室文化を彩った調度品や、帝室技芸員の作品を紹介します。

菊御紋卓布　大聖寺門跡蔵

6/1 → 7/16
企画展
タイムスリップ1918　大正の名古屋
―米騒動絵巻に見る100年前のモダン都市―
大正7年（1918）に起きた米騒動を描いた「米騒動絵巻」を通して、100年前の名古屋の街へいざないます。

米騒動絵巻　徳川美術館蔵

※同時開催
ユネスコ世界記憶遺産登録記念
朝鮮通信使と名古屋

7/21 → 9/2
企画展
英雄たちの戦国合戦
戦国武将の書状や武具を通して、彼らの実像や合戦の様子を紹介します。

長篠合戦図屏風　徳川美術館蔵

9/9 → 10/28
秋季特別展
尾張藩邸物語
江戸時代に尾張藩が設けた数多くの藩邸の様子を、屋敷図面や邸内で使われた道具から探ります。

染付西洋風景図花生・台　徳川美術館蔵

11/3 → 12/16
企画展
徳川慶勝の幕末維新
幕末に活躍した尾張徳川家14代慶勝の生涯をたどるとともに、慶勝が撮影した名古屋城の写真を紹介します。

徳川慶勝肖像写真　徳川林政史研究所蔵

12月17日～1月3日　特別整理・年末年始休館

1/4 → 2/3
企画展
書は語る
―30㎝のエスプリ―
天皇や公家・武家、芭蕉や子規・漱石など、懐紙や短冊に染筆した書を通じて、その人物像をさぐります。

短冊手鑑　徳川美術館蔵

2/9 → 4/7
企画展
ひなを楽しむ
―旧家のひな飾り―
素朴で親しみやすい町家のお雛さまを通して、旧家の“桃の節句”をお楽しみください。

内裏雛飾り　徳川美術館蔵

名古屋市秀吉清正記念館

3/17 → 5/6
特集展示
秀吉の家臣たち
加藤清正、福島正則をはじめとする秀吉家臣について、賤ヶ岳七本槍などの伝説と史実との両面から考察します。

5/15 → 7/16
パネル展
武将たちの眠る場所
秀吉、清正、家康ら武将の墓所は、菩提寺だけでなく、意外な場所に設けられています。各地に散らばる墓所や位牌所、神社などをたどります。

鳳来山東照宮遠望

館内点検のため休館　6月30日～7月6日

7/21 → 9/24
夏休み特集展示
戦争と城
江戸時代には各藩にあった城や陣屋、藩主の屋敷は、明治維新後に多くが破壊されました。名古屋城天守、広島城天守などわずかに残った建造物も、第二次世界大戦末期の空襲によって大半が焼失しました。それら失われた城郭について、ガラス乾板写真や訪日外国人によるカラー写真、公文書館等に残された記録類により、かつての姿を探ります。

絵葉書　名古屋離宮 名古屋市博物館蔵

10/10 → 12/2
特別陳列
秀吉清正記念館名品展
秀吉清正記念館は、昭和42年（1967）、名古屋市豊清二公顕彰館として、秀吉・清正の生誕地である中村公園に設置されました。平成3年（1991）、中村公園文化プラザの開館にともない、現名称に名を変えプラザ2階に開設されました。50年に及ぶ博物館活動の歴史を顧み、名品展を開催します（会期中展示替あり）。

ビロード陣羽織　木下家資料

足半　兼松家資料

12/11 → 2/17
パネル展
清正と城
加藤清正は、築城の名人、治水の神様としても知られています。名古屋城、熊本城をはじめとする石垣普請や、河川改修等に関する清正の知識の一端を紹介します。

2/19 → 4/21
パネル展
秀吉と城
秀吉は生涯で多くの城や館、寺や神社を築きました。大半は江戸時代に破壊されましたが、近年方広寺跡などいくつかが発掘され、壮大な建築プランが明らかになっています。その成果を紹介します。

真柴久吉公名護屋陣先手諸将操出之図